



鴉の声

今年の夏の災害級の猛暑や北海道胆振地方の地震、又、相次ぐ大型台風による風水害等、まさに災害列島の様相を呈しております。改めて、災害は身近に起こるものという認識を常にもっていなければならぬと痛感致しました。

地震と異なり、ある程度想定がつく自然災害は事前に十分な備えをしておくことが必要であるということも教訓として再認識しました。

さて、災害への備えと病気を予防するという面はつながりがあるように思います。人間ドックのように定期的な健康診断も大きな効果を期待できるものですが、現代はもう一歩進んだ、予防医学というものが注目されております。ある雑誌の今月号に、予防医学研究者の石川 善樹先生の記事が掲載されておりました。表紙の見出しに大きく

「人とのつながりが健康寿命を延ばす」というものです。まず、自分自身が健康で文化的な生活を送っているかという点、決して褒められるものではありませんが、「孤独は喫煙よりも体に悪い」と従来、喫煙は寿命を縮める一番の要因だと考えられてきました。しかし、2010年

に行われたアメリカのブリガム・ヤング大学のホルトランス タッドの研究によると、タバコを吸わない、お酒を飲み過ぎない、運動をする、太り過ぎないといった項目よりも、人とのつながりがある方が健康寿命を延ばすそうです。(詳しいデータは省略) つながりの重要性を初めて明らかにしたのは、1979年にバークマンとサイムという研究者がアラメダ研究という、アメリカ・カリフォルニア州のアラメダ郡を舞台にした研究で、30才から69才までの男女数千人を対象に9年間追跡調査したもので、婚姻の状況、

家族や親戚、友人との付き合い、

教会などの宗教的活動、ボランティア活動など、死亡率との関係を明らかにしたもので、それによると、社会的に孤立している人は、社会的なネットワークを多く持つ人と比べると、男性で2.3倍、女性で2.8倍も亡くなる率が多かったというものです。(詳しいデータは省略) この結果はつながりについて関心を持たなかった多くの医療関係者に衝撃をもたらしたとの事です。

人とのつながりがなぜ健康寿命を延ばすのかという、石川先生の報告はまだ続くのですが、紙面に限りがありますのでこの位にして、この記事を読ませていただき、改めて、ご縁により本会に居場所を提供して頂いている事に感謝をした次第であります。

(総合施設長 齊藤 操)

ときがね な ひととき

※法人内の事業所の日々の様子をお知らせします。

鴉嶺の家（高齢者・障害者）

毎年涼しくなってくると寂しげな気持ちになります。今年ほど秋になる事を待ち望んだ年はありません。鴉嶺の皆様も災害レベルと言われた酷暑を乗りこえる事ができ、また乗りきっただけでなく心なしかパワーアップしている気がします。

9月が誕生日だったM君。以前よりも大きな声が出るようになり「今のM君？」と職員達が驚いています。

一般家庭のような雰囲気、普通のお茶の間であり続けた「鴉

嶺の家」でありましたが、老朽化が進み10月から一時休止して改修工事を行う事になりました。

ご利用者・ご家族の方々にはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

先日の家族会では工事期間中にご利用して頂く「ふくおかの家」「五根の家」の見学を行い、参加されたご家族は興味深くご覧になり、気軽に質問もされ終始和やかに行う事が出来ました。

9月最後の土曜日には「ときがね街かどサロン」を開催、今回は「フラダンス」です。花飾りや綺麗な衣装を身にまとった方々が優雅なダンスを披露して下さり、そこは東金ではなくハワイ！利用者の方々も花の首飾りを着け楽しい表情をされていました。その表情を見て職員達は嬉しくなり癒されました。リニューアルした後もこのような笑顔溢れる「鴉嶺の家」であるよう職員一同パワーアップしてお待ちしています。（金坂）

鴉嶺の家（児童）

楽しかった夏休みも終わり、二期期が始まりました。新学期になり早一か月が経ちます。子ども達も普段の生活リズムを取り戻してきたように思います。最近では雨が続き、思うように外へ出る事ができず、室内での過ごし方がスタッフの中で課題となつています。室内の活動として「うんどうあそび」を取り入れていきます。先日は、ぞうきんウォーク♪みんなで雑巾がけに挑戦！「よいいドン」の掛け声でスタート！スタッフも大人げなく本気です（笑）ぞうきんをお尻の下に敷いて膝を曲げ、手を後ろに付いて進む運動もしました。体幹が鍛えられ姿勢もよくなるそうです。はじめは参加できなかった子も、お友達の手を借りながらニコニコしている様子を見たりしてくれました。スタッフの上にも乗りながらニコニコしている子どもを乗せて進むスタッ

フは必死です（笑）子ども達には、社会性を身に付けるためにお手伝いも取り入れていきます。夏休みには、自分たちが使ったプールの片付けをお願いしました。自分達から率先して片付けに取り組み、「もつとやる事なの？」とスタッフに聞く子ども達…とても頼もしく感じました。責任感・自信に繋がるなどたくさんの利点があり、子ども達の成長を感じました。きちんと感謝の気持ちを伝えたいという気持ちですね。いつまでも「ありがとう」と言える大人でありたいです。（秋葉）



ぽけっと

金木犀の香りが風に漂う季節になりました。今年の夏は猛暑で、秋なんて来ないように思われましたが、ちゃんと鈴虫が啼き、彼岸花が咲く…。毎年の事ながら、自然の力強さに襟をただされる思いがします。

夏休みも終わり、お子さん達もそれぞれの学校で2学期が始まりました。2学期は、運動会や、修学旅行・スポーツ大会・学校祭などの行事がたくさんあります。また、支援学校の高等部では、実習が始まるお子さんもいます。楽しい反面、いつもの日課が変わる事で気持ちや、体が疲れてしまう時期です。保護者の皆さんや、関係機関の皆さんと、連絡を密に取りながら見守り、支える事ができればと思っています。

「頑張る」と「休む」のバランスはお子さん一人一人違いますが、頑張ったら褒めてもらい

たい。認めて欲しい。と思うのは、誰でも同じです。頑張るばかりでは、駄々をこねたくなったり、大きな声を出したくなったり、何もしたくなくなったりしますよね。ぽけっとでもこの時期は特に、小さな事でも、いつも出来ている事でも、「偉いね!」「凄いね!」「頑張ってるね!」と顔を見て声をかけるようにしています。また、お子さん達の好きなおやつを揃えたり、外に出て遊ぶ事で気分転換をしたり、次の日また頑張れるきっかけになればと思っています。頑張る事が、成長に繋がるよう保護者の皆さんと私達も頑張ります。(君島)



サポートセンタースピリッツ

9月に入り雨が多く台風などもたくさん上陸しましたが皆様いかがお過ごしになりましたか。スピリッツでは、利用者の方・スタッフ共々ケガなどなく過ごしています。

最近、利用者の方の笑顔を見る機会が多くなりました。ある利用者の方の散歩の付き添いをした時に笑顔で「散歩できるといいね」、「スタッフと散歩できて嬉しい」などと話してくれたり、笑顔で関わることが多くなり、利用者の方一人一人の表情を感じることができるようになりました。それにより共に

過ごしている時間が利用者にとって、とても貴重なものですねに携わることができて幸せに感じることが多くなりました。

9月も過ぎ、いよいよ秋も深まる時期です。皆様はどのような過ごし方でしょうか。紅葉や星座鑑賞にはいい季節です

ね。この時期の紅葉は色鮮やかでも美しく私達の心を捉えて離しません。夜空の星々もとても素敵に輝いて目を引き付けて離しません。ですが、気を付けてほしいのが体調の管理です。この時期は寒暖の差が大きく、朝昼晩と着るものが変わってしまうほどの気温差があります。お出かけの際は、羽織るものなどを用意していくととても重宝しますので、寒さ対策をして出かけましょう。体調を整えて楽しい思い出を作っていくたいですね。(亀山)



ようやく残暑も落ち着いてきたようですが、また突然、猛暑日がくるのではないかと戦々恐々としています。

というのも、ここ数年なんとなく感じてはいたのですが、どうも強い日差しに晒されてしまうと、目の周りが腫れて頬の周辺に蕁麻疹のようなものが現れて痛みが出るようになってしまいました。紫外線などによるアレルギーなのか、単なる加齢によるものなのか。原因を特定するのはなかなか難しそうです。それにしても、加齢というワードを使うようになった自分が悲しいですね。来年あたりは、日傘デビューでもしましょうか。

さて、原因というワードのつながりになりますが、情緒不安定などいわゆる「不穏」の原因を考えると、その方にどのような『不安（不満）』があるのかと考える機会が増えまし

た。不安にいたたまれなくなつて、つい大げさな騒動にしまつたり、不安を紛らわせたくて、つい適切でない行動をしてしまふことは、実は普段の日常生活の中で誰にでもあることなのかもしれない。

例えば、「会社で嫌なことがあつて深酒をして大騒ぎ。周囲に大迷惑をかけてしまつた」などよく聞きませんか？不安には取り除けるものとそうでないものがあるとは思いますが、私では至らないことも多々あるとは思うのですが、なるべく不安の芽のうちにお話をさせていたただいて、情緒の波を穏やかにするお手伝いができたらと思つています。

私自身、実は感情の波は穏やかではないので、自分がやらかしてしまつた経験もいつか相談支援の糧になればと思いつながら、日々の利用者の皆様に寄り添えるように努力していきたいものです。（東野）

日中は、夏と変わらないような暑い日もありますが、夜は涼しく、日が落ちるのも随分と早くなってきました。

9月1日は、防災の日とのことで、9月6日に避難訓練を実施しました。旧ハンドワークメーンバーにとつては、ありさの建物で行う避難訓練は初めてです。設定は、地震の後に出火し、

屋外へ避難するという内容でした。「火事だー」となり、職員の指示に従つて避難していく際、仕事モードのMさんは、クラフトを素早く持ち、第一避難所までいきました。「本当の火事の時は、作業できないよー」との声掛けに返事してくれるも、第二避難所の中央公園まで編みながら、ご機嫌よく歩いていきました。

先日、ヤギさんがいるおせんべい屋さん「あられちゃん家」へドライブがてら行ってきまし

た。車から降りてすぐヤギに会いに行き、草をあげて楽しそうな皆の笑顔を見せてもらいました。その後、好きなおせんべいを選び、食べてきました。ぬれせんべいを食べたAさん「これ、しけつてるー」と一言。笑いをもらいました。「あられちゃん家」といえばソフトクリームで有名なのですが、帰りの車内で食べていないことを思い出し、「また来ようね」と話し戻ってきました。

夏の終わりがけの暑い日に、「ドライブに行きたい」とのことで、どこに行きたいか聞いたところ、「海」との返事があり、行くことになりました。着いて車から降りると、風が強く、飛んでくる砂がすぐ痛かったです。その中でも海に入りたい数人の利用者さん。足だけとの約束で入ると、洋服が濡れないようにと、頑張っていました。「また来年ね」と話し、今年の海を後にしました。（糸日谷）

ハンドワーク (就労継続支援B型)

先日までは記録的猛暑で熱中症の心配をしていたのがウソのように、急に寒くなってきましたね。ハンドワークのメンバーやその周囲でも体調を崩す人がチラホラと見受けられます。皆さんも充分お気を付け下さい。

さて、ハンドワークがありさの建物に引っ越してきて半年が経ちました。少しずつ引っ越しの片付けをしながら活動を続けてきましたが、先日やっと片付けが終わりました。片付けと言っても、ほとんどが断捨離のように色々なものを処分していく作業でした。

処分品の中には、思い出も詰まっ
ていて「これは、あの時使ったな」
などと振り返ることがあります。
片付けが終わると、掃除です。
今まで活動してきた押堀にある
ハンドワークの建物には、お別
れと感謝の気持ちを込めて、あ
りさの建物には、今後使い続け

ていくために大掃除をしました。

押堀の大掃除をした日は、まだ夏の日差しが強く、掃除に行ったメンバーは汗をかきながらも雑巾がけや庭の草刈りを頑張つて行い、お別れをしました。張った日は、雨の日が続いていました。ありさの建物の大掃除をした日は、雨の日が続いていた中日で晴れていましたが、そこそこに暑い日でした。こちら
も汗をかきながら荷物を運んだ後の床掃除などをしました。
9月の後半には新しいメンバーも一人増えました。心機一転して活動する姿を今後も見守ってください。(豊田)



五根の家 (グループホーム)

9月6日に北海道胆震東部地震が発生し、揺れの激しい地域では震度7が観測されました。土砂崩れが起きた厚真町では、今回の地震でもっとも多く
の犠牲者ができました。地震で被災された方たちに心よりお見舞い申し上げます。

現在、地震・台風・大雨・竜巻など、日本全国どこで大きな自然災害が起こるかわかりません。千葉県でも30年以内に大きな地震が高い確率で起きるといわれています。備えあれば憂いなしとことわざにあります。大きな災害が起きる前に、何が準備でき、何ができるのか、日頃から考え、防災訓練もしっかり行つていきたいと思ひます。

9月16日に上宿区の敬老会にTさんと参加させていただきました。昨年も参加させていただいたのですが、昨年同様、椅子を使用しているTさんを2階

の会場にあげる為、地域の方々にご協力いただきました。ありがとうございました。そんな地域の方々のご協力もあり、敬老会に参加することができたTさんは、顔なじみの方も多く、普段見られない生き活きとした表情でお話しされていました。地域とのつながりの大切さを感じることができました。

五根の家でも敬老の日にはさやかではありますが、メッセージカードとともに祝い膳を提供させていただきました。祝い膳の中でもお寿司は好きな方も多く、みなさん食がいつもより進まっていたようでした。来年の敬老の日もまた皆さんで美味しい食事ができる事を願ひながら日々過ごしていきたいと思ひます。
(石橋)



五根の家（小規模多機能ホーム）

秋といえば食欲の秋・スポーツの秋・読書の秋など様々な秋がありますが、皆様はどんな秋を楽しまれておりますか？

五根の家でもご利用者一人ひとりがどのように過ごしたいのか？何がしたいのか？を模索しながら『平成最期の秋』を楽しみたいと考えております。

さて、今年の夏は五根の家でも何か夏らしい事をしてみようという話になり、バーベキューを行いました。普段から食事作りのお手伝いをして下さるおばあさま方はおりますが、おじいさま方が食事作りを手伝われることはありません。しかし今回ばかりは男性の出番です。軍手をしてバーベキュー台の準備から火おこし、食材を焼くまで積極的に手伝ってくださいました。焼いてくれたフランクフルトはとてもおいしかったです。ありがとうございます。

ございます。他の方々も「がんばれ」「おいしそうだね」などお話され、いつもとは違う食事を楽しまれておりました。

地域のイベントでも五根の家の中でもそうですが、私達が思っている以上にお年寄りの方々はできることが多いですし、人とのふれあいや楽しみを求めているのかもしれない。季節を大切にしたり行事を中心に、地域の方々に支えられながら、これからも一人ひとりが望む生活を過ごせるよう私達も考えて行きたいと思えます。（猪越）



こころん

秋の訪れを感じる今日この頃です。暑かった夏を振り返ってみると今年の甲子園は公立の農業高校が勝ち進み、いつにない盛り上がりでした。全員が地元出身の選手であり、地道に練習を積み重ねていた姿や、農業高校ならではのユニークな学校生活などが人々の関心を寄せたようです。地元の声援がとても大きかったことも注目されました。

この盛り上がりをきっかけに農業への興味が広がっていくことも期待されているそうです。農業界も少子高齢化の影響で、人手不足や後を継ぐ若者がいないことが度々話題にあがっています。

こころんでは、複数の農家さんにご協力いただき繁忙期のお手伝いなど、単発のお仕事をいただき、体力面などを考慮していきそうな方にお声掛けをしてい

ますが、体調の不安や大変そうだからという理由で嫌厭されることもしばしば。一方やってみると、達成感があった・やりがいを感じたと感想をいただくことも多いです。農業に限らずですがやってみないとわからないことがたくさんありますね。お手伝いとは言いつつも、ほとんどは農業の経験がない方ばかりです。農家さんの親切なご指導や気遣いあって得られた達成感でもあり、それは後々の活動にも少なからず影響を与えています。こころんでも地元のパワーをお借りしながら、地元を盛り上げるお手伝いが出来ればと感じています。（渡邊）



まちの保育所いくりん

「はやく秋になあれ」と秋を心待ちにしていたのに、あの暑さがなくなってしまうとなんとか寂しく感じます。

いくりんは新しいお友達をお迎えし、みんなで7名となりました。そのうち6名のお友達がすでに満1歳のお誕生日を迎えています。毎日満面の笑みで盛んに喃語を発したり、「ママ」や「おいしっ」と覚えてたの言葉を聞かせてくれます。まるで忍者のように伝い歩きが上手な子、誇らし気によちよちあんなよができるようになった子、タツタカタツタカあんなよがしっかりとしてきた子、保育士たちはそんな子ども達の姿に癒されています。

ご飯もお粥から普通ごはんに移行し、今まで提供できなかった揚げ物や青魚もモリモリ食べれています。午前のおやつに提供しているピルクルも最後の一滴

まで残さず頂きます。そして、もうベビーチェアはおしまい！お兄さん、お姉さんと同じ椅子を使って、お手々パチン！「いただきま〜す」のジェスチャーも上手です。

また、今年1月に生まれたNちゃんも腹ばいで前に進むうと頑張っています。できなかった子が突然できたりと毎日の発見が楽しみです。

子ども達の成長をお父様、お母様と一緒に見守っていただけることの幸せを噛みしめて、今年度後半も充実した保育に努めます。まだまだ至らない点もありますが、スタッフ一同力を合わせて安全で愛情たっぷりの保育を心掛けて参ります。どうぞよろしくお願い致します。(小澤)



学び舎・ゆーすぽーと

ゆーすぽーとでは、色々な年齢層の関わりがあります。お兄さんが年下女子に人気です。かまって欲しくてたまりません。

まっつて欲しくてたまりません。スキを見つけては、ちょっかいをかけて楽しそうです。でも決して怒ることなく相手をして、あしらい続けるA君とB君。A君は、子どもが好きだと言っていたはずですが、今は違ってきたようです。「だって、本当のこと(子どもの本性)知らなかったから」とA君。小さい子って、見た目の可愛さにだまされますが、やんちゃをするし、思い通りにならないものです。それでも、子どもって面白くて小憎らしくて、それが可愛いんですよね。大人の私が傷付くこともあるけれど、それもひっくり返して心を揺り動かされることが多いから、だから子どもって面白くて好きなのかなあと思います。

ブルーベリーの染物教室では、煮だしたり水で洗ったり、多めの水運び作業があつて中年・老年のスタッフ達は終了後へとへとでしたが(笑)、子ども達の楽しそうな表情が見られました。

ある日のサテライトでは、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に書道をしました。字を書くことが好きなCちゃんは、集中してまじめに取り組んでいました。しかも上手！低学年の子ども達は、途中から筆と墨でお絵かきになりましたが、初めての筆の感触を味わっているようでした。おじいちゃん・おばあちゃん達は最初ためらいつつも、一回書き出すと皆さん本当に達筆でした。先日の食卓で、あることが判明。利用者さんとスタッフの、年齢当てをしていた子ども達(結構的確でした)。子ども達も含め、20代以外は90代まで全年代が揃っていたんです！こうなったら20代も揃えて、いつかパーフェクトにしたいですね(笑)。(安井)

ひなたぼっこ・椿森

秋風が心地よい時節となりました。あの猛暑が嘘のように、寒さを感じる日もあり、季節の変わり目で風邪を引かれる方もいらっしやるのではないでしょうか？

ひなたぼっこ・椿森は、9月に入ってから利用問合わせが続き、新しいお仲間を迎えて忙しくも賑やかな毎日をお過ごししております。9月の終わりに懇親会を開催しました。7月に予定していた懇親会のバーベキュー企画でしたが、台風直撃され延期になりました。そして、なんと！今回も台風24号の影響で雨となってしまいました。そこで、今回はバーベキューではなく室内での鉄板焼きに変更し、ビンゴゲームや魚釣りゲーム等のレクリエーションで盛り上がりました。ご家族も参加して下さい、良い交流の場にもなりました。また、春になつ

たら同じような機会を設けたいと思います。

さて、2か月に1回開催している運営推進会議ですが、開所してから9月で5回目の開催となりました。最初はこちらが一方的に事業所報告をし、意見を頂く形で進んでいた会議ですが、回を重ねるごとに運営推進委員の方々も顔なじみになられ、様々な意見交換がなされるようになりました。地域に住む方の困りごと等も聞くことができ、徐々に地域の一員になってきたような気がします。貴重なご意見ばかりなので、参考にしながら運営に役立てていきたいと思えます。(鈴江)



まちの保育所空ば

爽やかで過ごしやすい季節になってきました。芸術の秋・実りの秋…。食いしん坊の空ばの子ども達は、もちろん食欲の秋です！(笑)

9月から空ばは、いくりんよりお引越しをしてきた2名のお友達と新たに1名のお友達が加わり、合わせて12名の子ども達が元気いっぱい過ごしています。

Kちゃんは新しい環境ということもあり、最初は「エーン」と泣いていましたが、今では保育士達にお家での出来事を沢山聞かせてくれるようになりました。そうそう！3時のおやつもとても楽しみにしてくれています。

先日、地震を想定した避難訓練を行いました。保育士の「地震ー!!」という大きな声にビックリして泣き出す子もいました。けれど、保育士の声かけで

机の下にもぐる事ができ、テラスに移動し、靴下や靴も一人で履くことができました。歩いている途中は、わき目もふらず、おしゃべりもせず…思っていた以上に立派に行動が出来た子ども達に胸がいっぱいになりました。

今、子ども達は、今月に行われる空ば農園オープンに向けて、収穫祭の準備で大忙しです。ぶどうや柿など子ども達が紙で製作した果物を空ば・いくりんのみんなで収穫します。乞うご期待を♪(丸)



ふくおかの家が始まって約4ヶ月が経ちました。その間、

8月〜地域交流室を活用してゆうすぽーとのサテライト事業が始まり、10月〜共生型サービスを開始して高齢者だけでなく、障がいの方も含めた利用が始まり、事業所の持つ機能も地域の必要に応じる形で少しずつ変化しているところです。最近では台風や豪雨、大地震等による災害も全国各地で起きており、ここ東金市においてもいつ起きるかわからない状況であり、有事が起きた際に登録された利用者さんは勿論のこと、地域の福祉拠点として何が出来るか、真剣に考えていきたいと思っています。

話は変わり、書道が得意で師範の資格を持つ男性の方がおり、9月にご本人のお誕生日会を企画させて頂いたところ、お祝いの席に合わせて以前の作

品を持参して下さいました。早速、壁に飾らせて頂き、素晴らしい書を背景に記念撮影をしました。それを機に、時々、別の作品を持参されては壁に飾って皆さんと観賞しています。

先日、ゆうすぽーとの子ども達に向けて書道の先生がボランティアで来られ、お年寄りの方々も一緒に参加しました。先ほどの男性が先に筆を走らせる他の方も見本を見ながらそれぞれ味わいのある書を仕上げておりました。「久しぶりに字を書いた」と話があり、年をとるにつれ、ご家族が代筆される事も多くなりますが、字を書く機会も大事にできると良いと思われました。(黒田)



企画・イベント情報

穂垂るの会

介護している方々が集まって日々の苦労話等を気軽に本音で話し合う会です。

日時..11月8日(木) 13時半〜
会場..ふれあいセンター

2階 創作室

参加費..200円

主催・連絡先..

穂垂るの会・井上

(090・7171・1701)

ヨガサロン

健康管理、仲間づくりにヨガを始めませんか?

旧道の岸本薬局の斜め向かいにある「ありさ」の2階で開催中。

開催日 11月7日(水)

11日21日(水)

※興味のある方は、ご連絡下さい。

ありさ(50・0362)

街Cafeさくら

「みんなで楽しくLet'sコグニサイズ!」

日時..10月28日(日)

13時〜16時

「ベリーダンス」

日時..11月25日(日)

13時〜16時

「クリスマスビンゴ大会」

日時..12月16日(日)

13時〜16時

会場..東金市東金1060・6

(サンフラワー1階内)

参加費..100円(お茶代)

問い合わせ先..

社会福祉法人ゆりの木会内

認知症カフェ担当

平賀・笠原(50・8111)

お知らせ

スタッフ募集

子どもや障がい者、お年寄り等、人に関わる活動に興味のある方、一緒に働きませんか？

日数・時間・曜日・内容（介護・保育・支援・食事づくり・清掃など）・年齢等ご相談に乗りません。

※興味のある方は、ぜひ当法人にご連絡ください。

(533630)

ボランティア募集

趣味や特技、仕事を通じて身につけたスキル、体力等、自分らしさを生かしたボランティア活動をやってみませんか？

ボランティア活動を通じて得られる効果は無限大です。

子どもや障がい者、お年寄り等、人に関わる活動に興味のある方は、ぜひ当法人にご連絡ください。

(533630)

鴛嶺・改装工事について

「鴛嶺の家」は、開所して14年目となり、家屋全体が老朽化し、耐久性及び耐震性に不安が生じてきていると同時に、防火という観点でも問題が生じてきております。

そのため、今後も安全かつ安心してご利用頂くため、急ではあります下記のとおり大規模な改修等工事を行うことと致しました。

一時休止中の支援に関しては、個々のご事情も異なることから、個別に時間を設定しご相談させて頂けたらと思います。

皆様には大変ご不便をおかけしますが、何卒ご理解頂きますようお願い致します。ご不明な点などございましたらご連絡下さい。

〈改修工事の内容〉

- ① 事業所の機能強化
- ② 老朽化した設備の改修
- ③ 大地震に備えた耐震工事
- ④ 火災に備えた防火設備（自動火災報知機・スプリンクラー）の設置
- ⑤ 一部間取りの変更



編集後記

秋から冬にかけてのこの時期、日没が早まり交通事故が増加しやすい傾向にあるそうです。不名誉な事に千葉県交通死亡事故件数は全国でも上位です。自動車を運転する際は早めの点灯を心がけていきたいですね。(S)

夏が終わり過ごしやすい秋ですが、台風など多い季節です。しかし、紅葉をはじめ、読書やスポーツなど何をやるにも良く、楽しみの多い季節です。利用者の方々に秋を楽しんでもらえると幸いです。(K)



ちばしゃ通信 (Vol.48)

発行日：2018年10月19日
発行元：ちば地域生活支援舎
編集責任者：宮下・太齋
連絡先：0475-53-3630